

長期確率評価手法検討分科会（第二期） の設置背景

背景

- ・ 南海トラフの長期評価において、時間予測モデルを用いた式でデータの誤差を考慮する必要
- ・ 継続的な課題としてばらつき α についても検討する必要

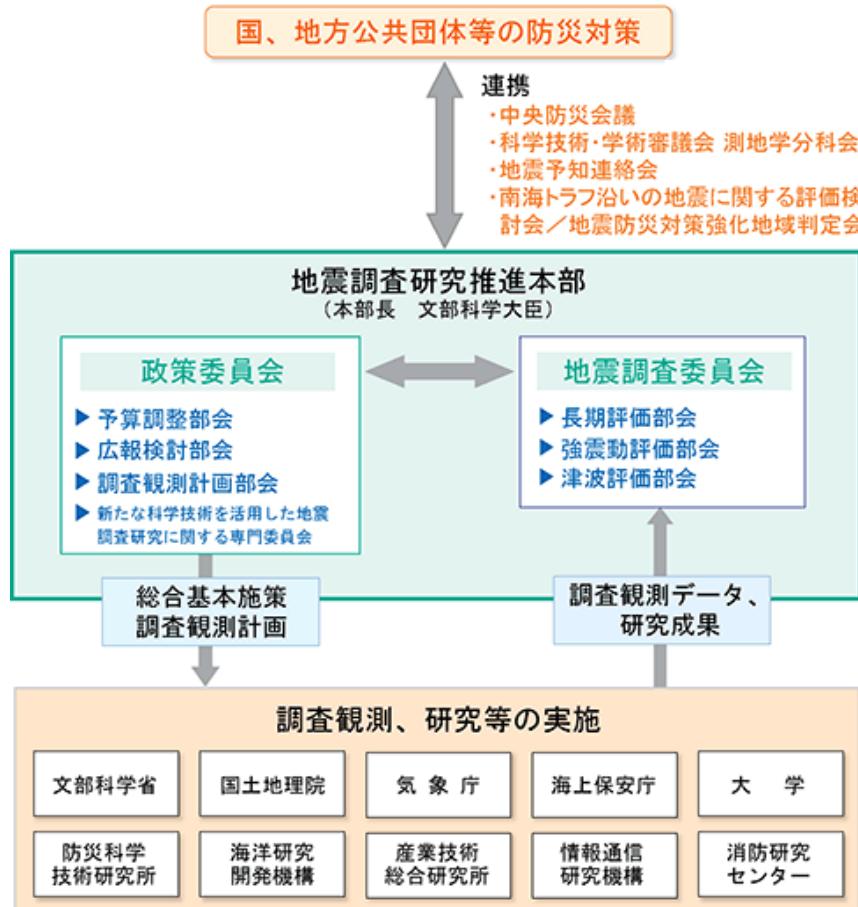


長期評価部会の審議に資するために、本部会の下に、長期確率評価手法に関する審議を行う「長期確率評価手法検討分科会（第二期）」を設置

今後のスケジュール

- ・ データの誤差を考慮した長期発生確率を計算する式について審議、8月から10月に2回程度開催
- ・ その後の議題として、ばらつき α など確率計算にかかる諸課題についても審議

【参考】 地震調査研究推進本部の組織について



地震調査研究推進本部（地震本部）

行政施策に直結すべき地震調査研究の責任体制を明らかにし、これを政府として一元的に推進するため、地震防災対策特別措置法に基づき、政府の特別の機関として1995年7月に設置された。

地震本部は、同法第7条第2項の規定に基づき、以下に掲げる事務をつかさどる。

- ① 地震に関する観測、測量、調査及び研究の推進について総合的かつ基本的な施策を立案すること
- ② 関係行政機関の地震に関する調査研究予算等の事務の調整を行うこと
- ③ 地震に関する総合的な調査観測計画を策定すること
- ④ 関係行政機関、大学等の調査結果等を収集・分析し、これに基づき地震に関する総合的な評価を行うこと
- ⑤ 前号の規定による評価に基づき、広報を行うこと

地震調査委員会

地震防災対策特別措置法第10条に基づき地震調査研究推進本部の下に置かれる組織であり、地震本部の事務のうち以下について調査審議することを目的とする。

- ④ 関係行政機関、大学等の調査結果等を収集・分析し、これに基づき地震に関する総合的な評価を行うこと

委員会は定例および臨時で開催され、定例の委員会では、全国の地震活動の現状について関係各機関の観測データを分析し、総合的な評価をとりまとめ、公表している。また、被害地震等の発生の際に開催される。

臨時会では、地震活動の今後の推移等の総合的な評価を公表している。

長期評価部会

長期的な観点から、地域ごとの地震活動に関する地殻変動、活断層、過去の地震等の資料に基づく地震活動の特徴を把握し明らかにするとともに、長期的な観点からの地震発生可能性の評価手法の検討と評価の実施し、地震発生の可能性の評価を行う。

【参考】長期確率評価手法検討分科会（第一期）

平成9年11月21日設置

分科会における審議事項

- (1) 長期的な地震発生可能性を活断層パラメータ等を用いて確率で評価する手法
- (2) その他必要な事項

開催日、主要議事

- 第1回 平成9年12月5日
長期確率評価手法について
- 第2回 平成10年1月28日
長期確率評価手法について
- 第3回 平成10年2月18日
長期確率評価手法について
- 第4回 平成10年3月25日
長期確率評価手法について
- 第5回 平成12年6月8日
長期確率評価手法について

委員名簿

- 第1回～第4回
島崎 邦彦 東京大学地震研究所教授（主査）
今給黎哲郎 国土地理院地殻調査部観測解析課長
井元政二郎 防災科学技術研究所地震調査研究センター第二地震前兆解析研究室長

尾形 良彦 文部科学省統計数理研究所教授

隈元 崇 東京都立大学理学部助手

佐竹 健治 地質調査所地震地質部活断層研究室主任研究官

鈴木 康弘 愛知県立大学情報科学部助教授

森 滋男 気象庁地震火山部管理課地震情報企画官

■第5回

島崎 邦彦 東京大学地震研究所教授（主査）

今給黎哲郎 国土地理院測地部測地技術調整官

井元政二郎 防災科学技術研究所個体地球研究部門総括主任研究員

尾形 良彦 文部科学省統計数理研究所教授

隈元 崇 岡山大学理学部助教授

佐竹 健治 産業技術総合研究所活断層研究センター地震被害予測研究チーム長

鈴木 康弘 愛知県立大学情報科学部助教授

西出 則武 気象庁地震火山部管理課地震情報企画官

関連の報告書

- 平成10年5月13日「試案 長期的な地震発生確率の評価手法及びその適用例について」
- 平成11年1月13日「改訂試案 長期的な地震発生確率の評価手法について」
- 平成13年6月8日「長期的な地震発生確率の評価手法について」

【参考】第一期解散時の長期評価部会議事要旨

地震調査研究推進本部地震調査委員会

第55回長期評価部会議事要旨

1. 日 時 平成13年6月27日（水）13時00分～17時00分

2. 場 所 文部科学省別館5F第2会議室

3. 議 題

- (1) プレート間地震の長期評価について
- (2) 震源を予め特定しにくい地震の評価について
- (3) 活断層評価について
- (4) その他

4. 配付資料

長55-(1) 第54回長期評価部会議事要旨(案)

長55-(2)-1 養老－桑名－四日市断層帯の評価（案）

長55-(2)-2 神縄・国府津－松田断層帯の形状評価（未定稿）

長55参考資料1 第54回長期評価部会（平成13年5月23日）論点メモ

長55参考資料2 メーリングリスト[chouki]における議論

長55参考資料3 震源を予め特定しにくい地震の評価に関する資料

長55参考資料4 震動評価部会における審議経過-第11回強震動評価部会議事次第-

長55参考資料5-1 プレート間地震の長期評価に関する資料

長55参考資料5-2 南海トラフに発生する地震の形状評価に関する資料

長55参考資料6-1 養老－桑名－四日市断層帯の評価に関する資料

長55参考資料6-2 神縄・国府津－松田断層帯の形状評価に関する資料

長55参考資料7 特徴把握に関する資料（事務局メモ）

長55参考資料8 活断層評価手法のガイドラインに関する資料

長55参考資料9 強震動評価部会から長期評価部会への要望

長55参考資料10 地震動予測地図の作成について（事務局メモ案）

長55参考資料11 「長期的な地震発生確率についての解説」の改訂版の準備について

5. 出席者

部会長 島崎 邦彦 東京大学地震研究所教授

委 員 岩渕 洋 海上保安庁水路部企画課長補佐

杉山 雄一 産業技術総合研究所活断層研究センター副センター長

中田 高 広島大学文学部教授

平澤 朋郎 (財)地震予知総合研究振興会地震調査研究センター所長

松田 時彦 西南学院大学文学部教授

松村 正三 防災科学技術研究所固体地球研究部門総括主任研究員

吉田 明夫 気象庁気象研究所地震火山研究部長

6. 議 事

(1) 前回議事要旨（案）に一部誤記があり改めて承認を求ることとした。

(2) プレート間地震の長期評価について議論した。

(3) 震源を予め特定しにくい地震の評価について議論した。

(4) 「養老－桑名－四日市断層帯の評価」について議論した。

(5) 特徴把握に関する件について議論した。

(6) 長期確率評価手法検討分科会と（旧）活断層分科会はその使命を終えたので解散したい旨提案し、承認された。